textlint editor - ブラウザでも動く Privacy Firstの文章校正ツールを作 る話

自己紹介

• Name : azu

• Twitter : @azu_re

Website: Web scratch, JSer.info



テーマ

- textlint
- Privacy Firstな校正ツールを作る
- サーバにデータを送らずに、ローカルで文章のチェックをする

textlintとは?

textlint

- textlintJavaScriptで書かれた文章のLintツール
 - ESLintの文章版
- Markdown、Re:View、HTMLなど文章構造をパースしてからチェックする
 - 一般的なスペルチェッカーは構造を見ないので誤検知する
- 200弱ぐらいのルールがある
 - Collection of textlint rule · textlint/textlint Wiki
 - 日本語、英語、言語に依存しないルールなど
 - textlint入門 (全11回) プログラミングならドットインストール

7 これは問題はある文章だ。

PROBLEMS 3 OUTPUT DEBUG CONSOLE TERMINAL

Filter. E.g.: text, **/*.ts, !**/node_modules/**

- ✓ (i) README.md source/basic/object (3)
 - Disallow to use "!". (ja-technical-writing/no-exclamation-question-mark) textlint(ja-technical-writing/no-exclamation-question-mark) [3, 9]
 - 🗵 ら抜き言葉を使用しています。 (ja-technical-writing/no-dropping-the-ra) textlint(ja-technical-writing/no-dropping-the-ra) [5, 7]
 - 区 一文に二回以上利用されている助詞 "は" がみつかりました。 (ja-technical-writing/no-doubled-joshi) textlint(ja-technical-writing/no-doubled-joshi) [7, 6]

textlintのユースケース

- Angular、React、Vue、Nuxt.js, Next.js、Gatsbyの公式ドキュメ ントの翻訳など
- 書籍: JavaScript Primer、Pythonクローリング&スクレイピング、RustPrimer、SurviveJS Webpack
- VuePress、Cypress、日本マイクロソフト Azure Identity、
 OWASP Cheat Sheet Series

文章に対するCI

- 文章に対するContinuous Integration(CI)を持ち込む
 - Continuous Writingするためのツール
 - asciidwango/js-primer: JavaScript Primer 迷わないための入門書とかで 使ってる
 - 長期間書いていると人間のほうが変わってるので質が一定に保てない
 - jsprimerは5年ぐらい書いている
- そのためどちらかというと技術的な用途がメイン

Easy的な使い方

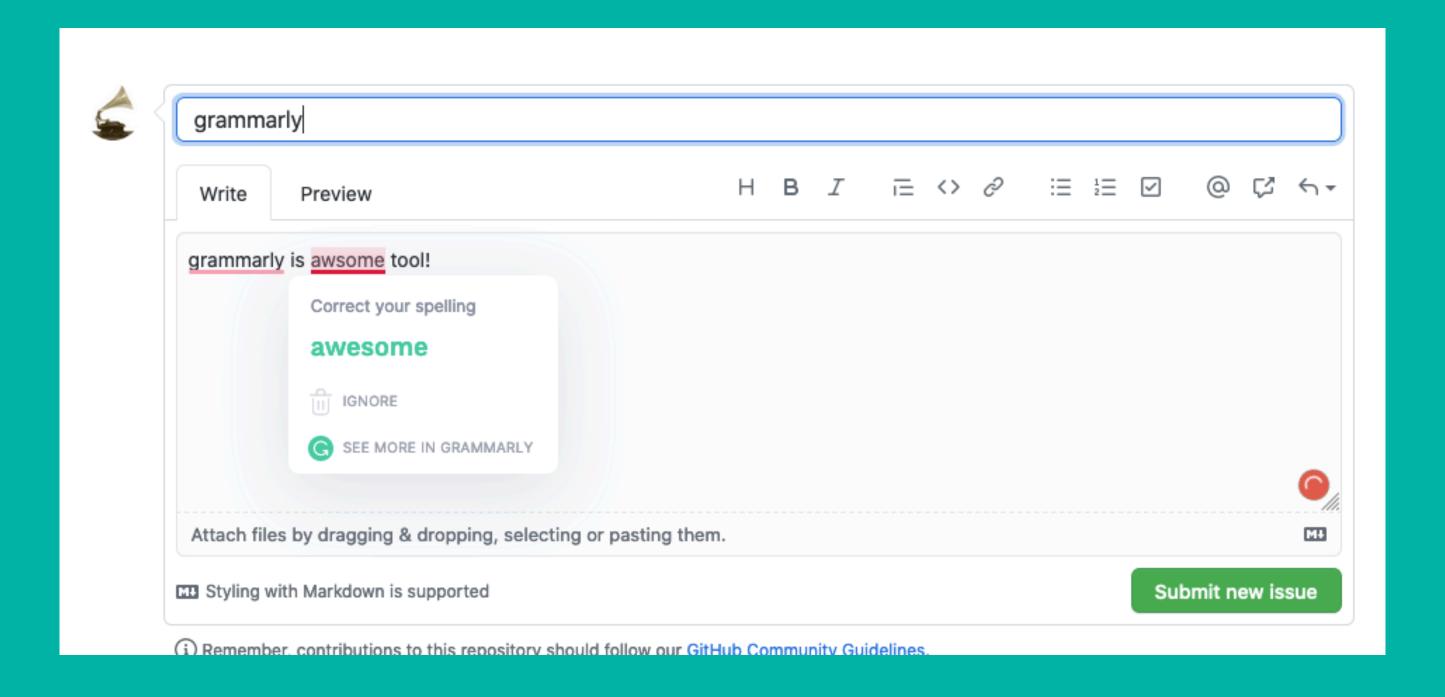
- 今までもtextlintをラップしたものはあった
- 文書校正ツール textlint の Chrome 拡張を作った もなでいっく
- テキスト校正くん Visual Studio Marketplace

textlint/editor

目的

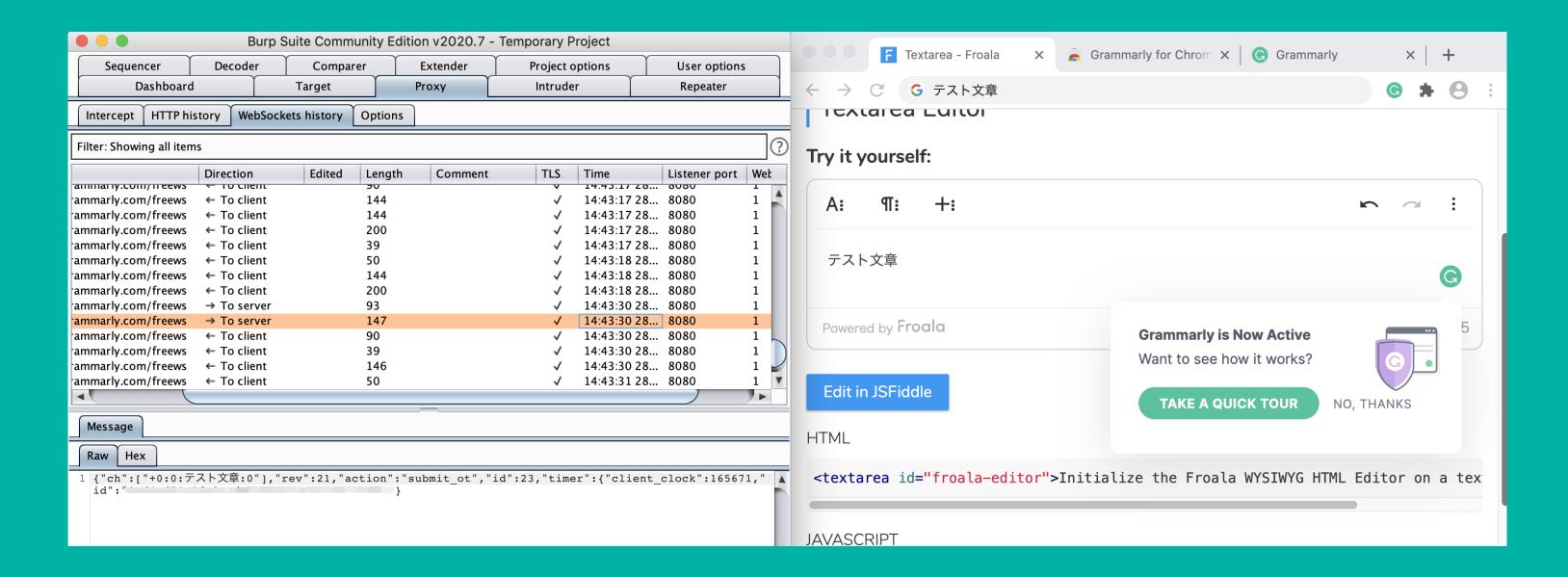
- Privacy Firstなgrammarlyを作る
- grammarlyのブラウザ拡張が便利だった
- ・ → 今回作ったもの: textlint/editor: textlint editor project.

grammarly



grammarlyの問題

• textareaに入力した文字が全てサーバに送られる仕組み



類似するツール

- grammarly
- Microsoft エディター
- どちらもオフラインでは動かない、サーバに通信してその結果 を表示する

サーバに入力文字を送ることで起きる問題

- DeepLでNetflix?の字幕を学習してる問題
- Baisu IME ログ情報送信問題

DeepLの学習

- -Now,を翻訳するとNetflixっぽい字幕 がでてくる
- DeepL利用規約(無料版)は入力データは 全てDeepLのものとなる
 - 無料版のデータは学習に使うため保持することが記載されていた
 - DeepL翻訳で機密は保持される?セキュリティは? | ブログ | 株式会社 ヒューマンサイエンス



Privacy Firstな校正ツールを作る

- textlintはJavaScriptで書かれている
- 基本的にルールもJavaScriptで書かれている
- そのため、オフラインでも動作する
- サーバにデータを送る必要がない

textlintをブラウザで動かす

- 目標: grammarlyのtextlint版を作る
- textlintは基本的にはNode.jsで動かしている
- ブラウザで動かすには依存を色々解決するものが立ち

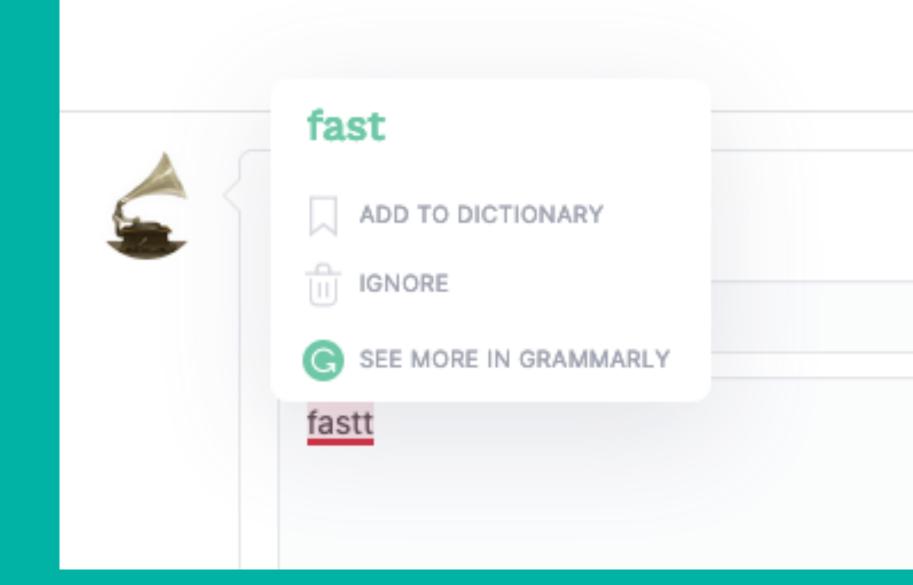
5日でプロトタイピング

- ここから本題 20min
- 5日でtextlint editorを作る
- ブラウザでtextlintを動かす
- ブラウザ拡張であらゆるサイトでtextlintでのチェックを使える ようにする

1日目

1日目

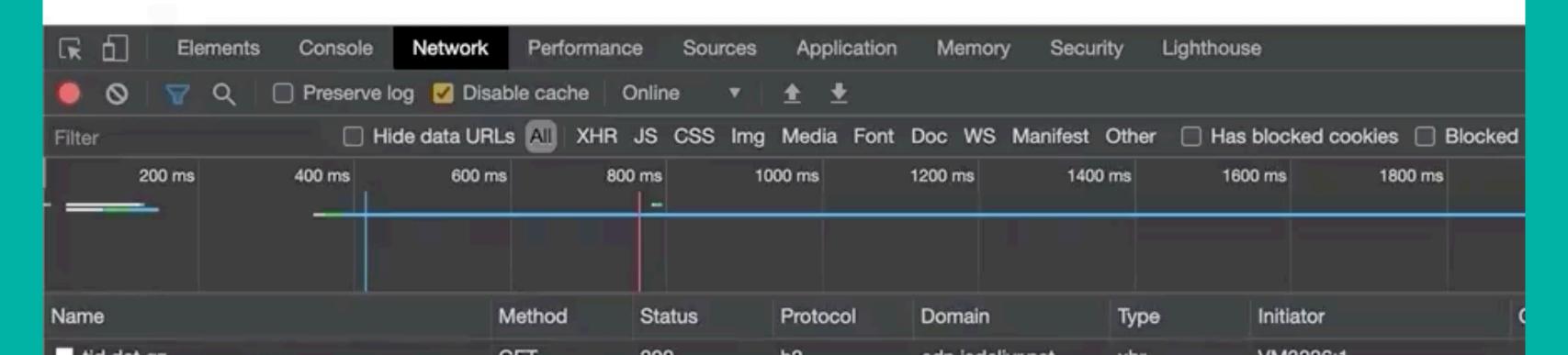
- grammery的なUIを作るプロトタイピン グ
- あらゆるサイトで動かないと行けない のでWeb Componentsでコンポーネン ト作成
- ◆ textareaに重ねるようにして要素を置くことで、一部に下線が出るようにするコンポーネント作る



DEMO: https://twitter.com/azu_re/status/1286309148758482945

 \leftarrow \rightarrow \bigcirc ① localhost:1234

0123456789! ABCDEFGH? 日本語もいけ るかな?



form お刺身が食べれない!寿司は食べられる。東京特許許可局は難しい 漢字だ。 linted **0**1 ▲ 2 夕 ··· × 要素 コンソール ソース ネットワーク パフォーマンス メモリ アプリケーション セキュリティ 監査 .. ▼<body> == \$0 スタイル 計算済み イベント リスナー » ▼<main class="main"> ▶ <text-checker-element>...</text-checker-element> フィルター :hov .cls + <textarea class="textarea">form お刺身が食べれない!寿司は食べられる。東京特許許可局は難しい漢字だ。 element.style { </main> ▶ <aside class="side">...</aside> ユーザー エージェントのスタイル シート <script src="/public.8e0568f4.js"></script> display: block; ▶ <textchecker-popoup-element>...</textchecker-popoup-element> margin: ▶ 8px; ▶ <div id="input-textarea-caret-position-mirror-div" stvle="white-space: pre-wrap: html body main.main text-checker-element ... 3D ビュー× コンソール 新着情報 × Reset camera Retake snapshot Zインデックス DOM すべて表示 スタック コンテキストのみを表示 ✔ ラベルの使用 選択した要素の分離 親を保持 色の種類 業から白 ○ 背景色 **■** 親と同じ描画順序の要素を非表示にします。

2日目

2日目

- 作ったUIにtextlintを組み込んでまずは実証
- 既存のtextlint-browser-runnerを使ってintegration
- → あらゆるtextlintルールをどうbundleをどうするか考える
- →動いた

textlintのbrowser版はなんでビルドが必要?

- textlintはすべてがpluggable
- textlintのルールを個人に合わせる仕組みが必要
- 同じ人でもルールは文章によって違う

2日目: textlintのbundleをどうするか?

- 方法
 - 全部入りのbundleを作る
 - 全部オンラインロード
 - ルールだけをパッケージするか

2日目: bundle prototype

- 全部入りのbundleを作る
 - @zeit/ncc Tbundle
 - →うごいた
 - webpackでも動くのは過去からわかってる
- 全部オンラインロード
 - PikaCDN, Skypackを使ってルールを読み込む
 - → ローカルでのビルドが不要というのが大きなメリット

textlintのbrowser版はなんでビルドが必要?

- Skypackとの格闘
- CDNでのビルド済みファイルの利用
 - mizchi/unirollでのビルド
 - importしたモジュールをCDNからロードするようにしてビルドする
 - Rename Pika to skypack by azu · Pull Request #10 · mizchi/uniroll
 - Support "module" field by azu · Pull Request #690 · textlint/textlint
- いくつか対応してunirollでtextlintが動いた!
 - https://twitter.com/azu_re/status/1286657627032678400

3日目

npm CDNの問題

- skypackではrequire("pkg/file")がtranspileされない仕様
 - pkgモジュールの相対パスのfile.jsを読み込む仕組み
- Lookup a Package File
 - そのため direct requireしてるライブラリがどこかにあると動かない
 - 回避するためにはライブラリガワがbundleファイルを配布してくれないとできない
 - feat: use microbundle for distribution by azu Pull Request #15 textlint/textlint-util-to-string
- → 現実的にあらゆるルールで担保するのは難しい
 - 断念

webpack as a service

- nccやwebpackでtextlintはビルドできる
- → webpack as a serviceを考える
 - codesandboxを使えば、webpackでビルドしたファイルをブラウザだけで取得でき そうな予感がした
 - どちらにしてもだいたいの人は配布されたファイルを使うだけでいい
 - 高度な使い方をする人は自分のtextlintrcを持っているはず → node環境がある
 - → つまり textlint + textlintrcからbundleを作成できるコンパイラーを書けば解決できるう

@textlint/compiler

- textlintのルールは仕組み的にdynamic requireで解決している (textlintが依存を知らないため)
 - ESLintなど多くのルールをもつツールはだいたい同じ仕組み
 - dllみたいなもの = ルール
- @textlint/compilerを作成する
 - webpackに優しいコードを出力する

@textlint/compiler

- このルールをcompilerがコンパイルしやすいように、静的な形に 整形するlinkerを書く
- .textlintrc(設定ファイル) → staticなrequireに変換するlinker
 - 実体はconfig loader + code generator
 - https://twitter.com/azu_re/status/1286952957754273793
- コンパイルの処理自体ははwebpackに生成したコードを投げる

4日目

リアルタイムLint

- ブラウザで動くなら入力ごとのLintしたい
- web workerの対応
 - 入力文字における処理はWebWorkerなど別スレッドで行うのが基本
 - コメント入力はレイテンシーに弱い 許されるのは 5ms以内ぐらい
 - webworkerに対応したtextlintを作成する
 - @textlint/kernel(コア)はpure jsで書かれているので、postmessageのラッパーを書 くだけで解決
 - target: selfで解決

kuromoji.jsの辞書解決

- textlintのルールでは一部のルールがkuromoji.jsでの形態素解析 を使ってる
- この辞書が圧縮して20mbぐらいある(無圧縮は100mb)
- この辞書を毎回ロードしててる大変
- worker内でキャッシュ、同時に取得した時に1回の取得にまとめる必要がる

kuromoji.jsの辞書ハック

```
const dictionaryDeferred = new Deferred();
const urlMap = new Map();
BrowserDictionaryLoader.prototype.loadArrayBuffer = async function (url, callback) {
    const fixedURL = url.replace("https:/", "https://");
    const cachedDictBuffer = await dictionaryStorage.get(fixedURL);
    if (cachedDictBuffer) {
        // console.log("return cache", cachedDictBuffer);
        return callback(null, cachedDictBuffer);
    if (urlMap.has(fixedURL)) {
        return urlMap.get(fixedURL).promise.then(result => {
            callback(null, result);
        }).catch(error => {
            callback(error);
    const deferred = new Deferred();
    urlMap.set(fixedURL, deferred);
    fetch(fixedURL).then(function (response) {
        if (!response.ok){
            return callback(response.statusText, null);
       response.arrayBuffer().then(function (arraybuffer) {
            var gz = new zlib.Zlib.Gunzip(new Uint8Array(arraybuffer));
            var typed array = gz.decompress();
            return dictionaryStorage.set(fixedURL, typed_array.buffer).then(() => {
                // console.log("cached", fixedURL);
                deferred.resolve(typed_array.buffer);
                callback(null, typed array.buffer);
           });
       });
    }).catch(function (exception) {
        deferred.reject(exception);
        callback(exception, null);
```

辞書ハック

- prototype hackをしてる
- ちゃんと解決するにはkuromoji.js自体をイジる必要がありそう
- dictionary loaderを外から使えるようにしないとダメそう
- forkしかないのかも

ここまで

- ブラウザでIntegrations
 - 1日目に作ったUI
 - 2日目は仮説検証 → 断念
 - 3-4日目に@textlint/compilerで生成 したtextlint bundleを読み込む
 - 統合して動かすデモ

お刺身が食べれない!寿司は食べられる。東京特許許可局は難しい漢字だ。

ら抜き言葉を使用し ています。

linted

5日目

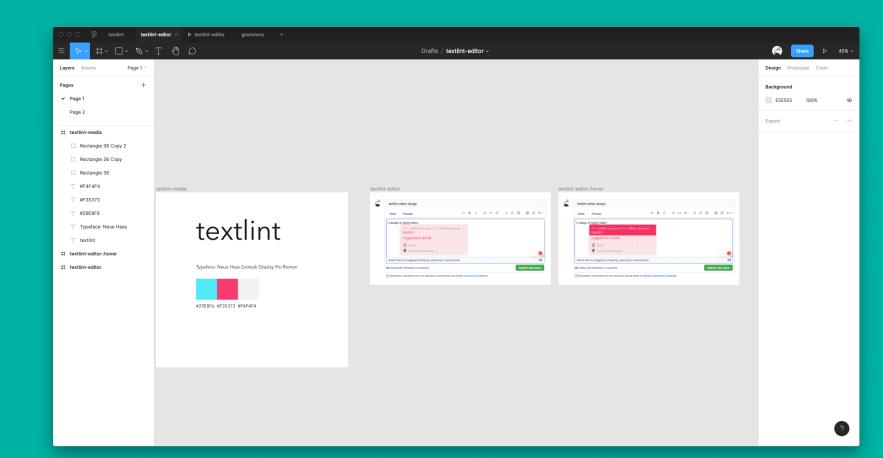
- ブラウザ拡張を作る
- web extension firefox + chromeとかに対応する
- WebExtension Toolboxを採用
- メンテにちょっと不安感あるけど、configを減らして運用でカバー ejectable

Chrome拡張での検証

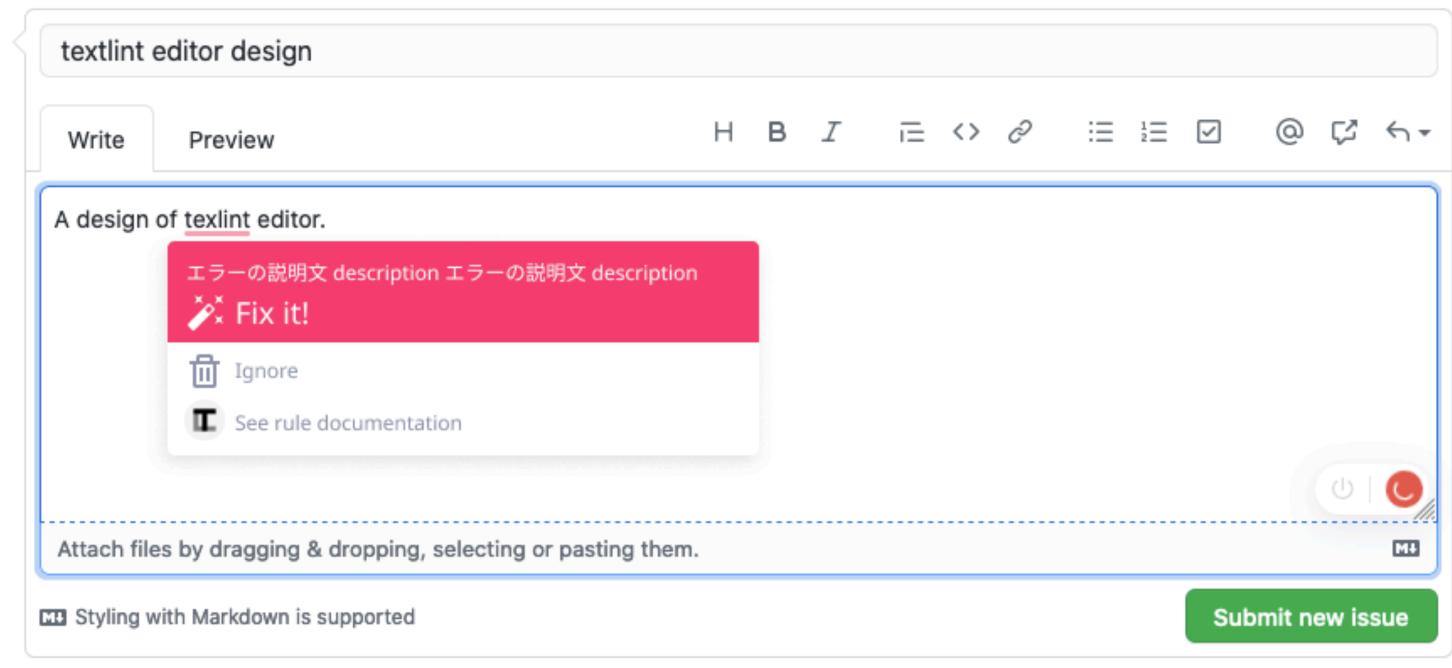
- [x] WebWorkerをBackground Pageで動かす
- [x] Content Scriptsで1日目のUIをあらゆるサイトにInject
 - Content ScriptsでWeb Componentがうごかない!!!
 - これ絶対Chromeおかしい!!!
 - 390807 Content scripts can't define custom elements chromium
 - import '@webcomponents/custom-elements'を使うことで回避
 - WebComponentをWebComponentのpolyfillで動かすことで回避
- UI → Content Scripts → Background Pages → WebWorker(textlit)
 - Lintに成功

デザインを書く

- デザインを描いていく
- figmaでいくかデザインのパターンを書 く
- https://www.figma.com/file/
 9kRm0Cr869zbdACytRE74R/textlint editor?node-id=0%3A1







(i) Remember, contributions to this repository should follow our GitHub Community Guidelines.

デザインを実装する

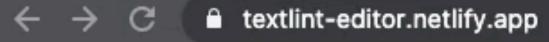
- Figmaで書いたデザインを実装する
- textchecker-element
- ひとまず完成!

textlint editor

https://textlint-editor.netlify.app/

デモ: https://twitter.com/azu_re/status/1288038759192174593









⊕ シークレット

お刺身が食べれない!

今すぐ行動することができる。

まとめ

- UIはWebComponents
- コアは最初からPure JavaScriptで書いておく
 - ちょっとしたNodeライブラリならwebpackでなんとかできる
- skypackのCDNはRollup系なのできれいなビルドができる
 - キレイじゃないライブラリは使えない
 - Node.js exportsとかがこれからくるので、きれいな方法がまだ定義されていない
- textlint + ルールを一つにbundleしてオフライン校正ツールが動いた!

これから

- Collaboratorを募集!
 - Repository: textlint/editor: textlint editor project.
 - Gitter: https://gitter.im/textlint-ja/textlint-ja
- ブラウザで動けば大体のところで動く
 - サイトに組み込みしやすい、サーバ側に遅れたデータを管理しなく ていい単語
 - → 同じ仕組みでウェブサイトに組み込みができる

これから

- frontend
- suggest対応
- ignore対応
- see document対応
- compiler
- codesandboxでコンパイルしたものを配布するテンプレート
- performance
- 今はlintが10msぐらい、文字数に応じて線形的に処理が増える
- ちゃんと考えるなら差分処理が必要だけど、文章にはコンテキストがあるので制限がある
- WebWorkerのおかげでUIにはlatencyは少ないので、1sぐらいならOK
- 現実的にtextareで10kbレベルの文章を書く人は少なくて、ファイルを分けるからなんとかなる
- DOMの最適化が必要。表示してるエリア飲みに情報を表示するなどの最適化が必須
- 拡張
- Chrome拡張にtextlint bundleを更新する仕組みを作る
- textlint.jsをダウンロードしてChrome拡張で使うものを切り替え → Workerを再起動
- storeの公開がめんどうくさいのでどうする?
- ルール: まだ動かないルールもあるはず

おわり

- 現在はprototypeができた段階、ちゃんと使えるものにする必要がある
- 興味がある人はCollaboratorとして参加してください。
- Summary Issue: https://github.com/textlint/editor/issues/4
- textlint/editor: textlint editor project.